

## ドクターカー寄贈

石巻 仮設の訪問診療に活用



寄贈されたドクターカーと長診療所長（宮城県石巻市の市立病院開成仮診療所で）

宮城県石巻市の市立病院開成仮診療所に29日、医療機器を載せたドクターカーが寄贈された。救急患者への対応や訪問診療のレベルアップが期待される。

寄贈したのは、途上国の医療支援に取り組み認定NPO法人「ピープルズ・ホープ・ジャパン」（東京都）軽ワゴン車の中には、小型の超音波撮影装置（エコー）などの医療機器が搭載されている。

購入費は、昨年創設された「特定寄付信託」を通じて、

篤志家の女性が被災地支援のために寄付した3000万円が充てられた。特定寄付信託は、利用者が信託銀行などに金を預け、希望に沿った公益法人などに継続的に寄付する制度で、医療機器の維持費も5年間、この資金で賄われる。

同診療所は、被災地で最大規模の仮設住宅団地の中にあり、訪問診療に取り組んでいる。同診療所の長純一所長は「大変心強い。これを機にさらに訪問診療に力を入れたい」と話した。